

西尾末廣 さいしひろ 政治家。明治二十四年二月二十八日香川県生れ、昭和五十六年十月二日歿（一九二一—一九八二）。大正八年友愛會に入り、日本労働総同盟政治部長を経て、昭和二年衆議院議員（當選十五回）。二十一年日本社會黨黨書記長、翌年國務相兼官房長官。のち昭電疑獄で黨除名。二十五任民社黨書記長として、初代委員長となる。四十七年引退。著書『生活と藝術』（合著・佐藤一郎編、昭和二十一年二月十日協和出版社「協和新書」）、『大衆と共々—私の半生の記録』（昭和二十六年十月）『二十日世界社』、『私の政治手帖—風雲三〇年の日本を顧る』（昭和二十七年七月）『二十日時局研究会』、『新党への道』（中村菊男編、昭和二十五年一月五日論争社）等。

